

マザーズねっとわーく

No.25

令和3年3月発行

山形市PTA連合会母親委員会

ごあいさつ

日々母親委員会の活動に、ご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。
単位PTAにおかれましては今まで経験したことのないコロナ禍で、できる限りの活動をしていただき感謝申し上げます。



今年度は新型コロナの感染拡大を防止するため、各学校の母親委員会の活動が自粛・縮小しており、市PTA連母親委員会においても、第一回・第二回の定例会は書面会議や中止にせざるを得ない状況でした。拡大母親委員会も中止すべきか悩むところでしたが、他県の“コロナで休校中の中高生の婦人科受診の増加”というニュースを知り、山形市の状況を把握するとともに、家庭での性教育の大切さをぜひ皆さんと共に学びたいと思い、PTAの研修会「いのちの大切さ学習会」と共催という形で開催させていただきました。今回は新たな試みで、参加できなかった方でも、希望者には期間限定ではありましたがWEB視聴することができるようにならいました。「親学」では、青少年の健全育成のために子どもたちを日々見守ってくださっている山形市青少年指導センターの活動を視察してきました。ぜひ記事をお読みいただき、ご家庭で性教育について話し合っていただいたり、子どもたちの安全・安心を支える活動について知っていただければ幸いです。

私たちは、コロナ感染に気を付けながらも、子どもたちの幸せな未来のために、学び合うこと、情報を共有すること大切にし、今後の様々な活動に活かしていくように努めていきたいと思います。

山形市PTA連合会 母親委員長 高見佳澄

山形市教育委員会・山形市PTA連合会教育懇談会 令和2年10月16日(金)開催 コロナ禍における学びの保障をめざして～学校行事と教科における学びの保障～



子どもたちの教育環境の向上やより良い子育て環境のために、各小中学校間の情報交換をしながら学びを深める教育懇談会に母親委員会からは運営委員が参加させていただいている。

今年度の教育懇談会は、マスク・消毒・パーテーション・検温といった万全の感染対策をとったうえでの開催となりました。講話では、コロナ禍におけるさまざまな制限の中で、いかに子どもたちの学びを保障していくかをテーマに、運動会や修学旅行、校外教育活動等学校行事の実施方法指針や臨時休校時のオンライン学習に備えたタブレット導入の取り組み・ICT教育推進の山形市の現状について、教育委員会の方からお話を聞きしました。

講話後には、9グループに分かれて、それぞれの学校の現状や悩みについて意見交換をしました。今年度はPTA行事の中止や役員会縮小の中で、各学校代表者の方々の苦労話から始まりましたが、直接顔を合わせて他校の取り組み、考え方を共有し思いを話すことで、安心感を得ることができ、充実した時間になりました。



今後導入予定のタブレットを用いた授業に対しては、子どもたちの学習環境の急激な変化に対して、先生方のスキル面や親の知識不足、家庭環境の格差など心配が多く聞かれました。子どもたちにとってこの変化が安全で安心できる楽しい日々になるよう願います。

コロナ禍で今年は不安の声が多く聞かれる中、子どもたちの未来を明るく照らしてあげたいという思いは、皆さん同じであることを実感した懇談会となりました。

～家庭でして欲しい、いのちと性の話～

【講師】 井上 聰子（いのうえ さとこ）氏

さとこ女性クリニック院長、県内外問わず小学校から大学、保護者や地域での性教育および健康教育の為に活動している。山形県で唯一産婦人科医スポーツドクターとして、中学生からトップ選手まで女性アスリートや指導者に向けての講演も行っている。専門は女性ヘルスケア（思春期、更年期）、性教育。



「この感染症禍だからこそ聞いて欲しい現実の話です。」そんな言葉から始まった性教育の話。「寝た子を起こすな」という性教育に対する意見もある中、なぜ家庭での性教育が必要なのか？保護者の私たちが自分の耳で聞き、考え方行動することが大切なかもしれません。先生が危惧するのは「寝た子を誤った情報で起こしてしまう」ということ。SNS やインターネットで誤った情報が溢れる中、家庭で正しい情報を発信することが大切。私たちは、子どもたちから「信頼され、相談できる親」になっているでしょうか？講座の中で語られた先生の言葉の一部をご紹介します。

【思春期の男子】・・・じっと我慢の時期



男子の多くは女子より発育が遅く、中3～高校生頃に追いついていく。
焦らず、今から女性に対する正しい情報を伝えることが大切。

大人になった時に
男女の違いを理解し
互いに信頼し
よき仲間に



●男子相談の主は「包茎」と「マスターべーション

自殺につながるいじめには「性的いじめ」が含まれることが多い。社会の中で、男性の下ネタ・武勇伝は誰も聞きたいと思っていない。それが許されるのはクレヨンしんちゃんの幼児世代だけ。中高生はもう幼児ではない。大人が同じことをしたら「犯罪」。大人になるタイミング・社会的な正しい情報・具体的な対処は親が子育ての中で伝える。射精やセックスについて自然に学習するのを期待するのは無責任⇒具体的な教育が必要！

●「性教育」の目的はジェントルマンのたしなみを伝える

男性の不潔が女性の子宮頸がんの原因になることも。
大人になった時のハラスメントを減らす為にも、病気を防ぐためにも、
本当に子どもが欲しいと思うまでの避妊具の利用に対して正しい情報を伝えよう。

質問されたときに
嘘をつかない、
はぐらかさない。



「わからない、一緒に調べよう」は O.K !

【思春期の女子】・・・貯金の時期



●通院する女子の多くは「生理不順」と「生理

ダイエットによる身体への無理な負担や部活動への誤った取り組み・ストレスが原因の事もある。これは将来の骨粗鬆症や不妊症・孫の世代まで引き継がれるという生活習慣病まで影響を与える大きな出来事ということ。子宮内膜症はまだ原因が良く解っていない中、様々なリスクを持っている。不妊症だけでなく、歯周病などと同様に心筋梗塞などいのちに影響を及ぼす大きな病のリスク因子ともいわれている。

子宮内膜症はなぜ増えているの？

少子化や初産年齢の高齢化などの社会環境から妊娠出産回数が減った（=排卵回数が増えた）ことが原因のひとつ
⇒月経コントロールでのピル使用は排卵を休ませる観点からも有効な選択肢

こんな時は婦人科を受診して！

- ①初経が中学校卒業まで無い
- ②生理痛で薬を飲んでもいつもと同じように行動できない
- ③生理不順の3のルール「3週間続く、月3回出血が来る（ごく少量でも）、3か月無月経」

生理記録をつけよう！

性交経験のない若い方
には必要がない内診はしません。



性暴力被害の報告は年々増えている。その為に誰でもいつでも相談できる性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターなどの相談窓口や、計画外/意図しない妊娠を防ぐための緊急避妊薬などがある。相談できるのは友達でもいい。正しい使用法を知り、救済方法として知っておくことも必要。

子どもを被害者にも、加害者にもしない為に

《山形の相談窓口》

●山形性暴力被害者サポートセンター「べにサポ やまがた」

☎023-655-0500

月～金 10:00～21:00（祝日・年末年始は除く）

●性暴力被害相談の全国共通短縮ダイヤル
#8891 【#早くワン（ストップ）】



コロナ禍の今だからこそ小中学校、そして地域と連携を！



第六中学校リサイクル回収活動 新たな取り組み

令和元年度3月、卒業を待たずに始まったコロナウイルス感染拡大防止による休校措置。第六中学校では前母親委員長が卒業学年からの制服リサイクルを活発化させようとしていた矢先の出来事でした。当たり前に卒業を迎えない子もたち・保護者に、思い出の詰まった制服をリサイクルに出して欲しい…そんな言葉もかけられない…そんな葛藤の中、PTA活動も同じ様に休止したまま迎えた新年度となりました。

しかし、子どもたちの成長を止めることは出来ません。「もう丈が短くて…」そんな声も聞こえるようになってきた頃、滝山小学校の母親委員長さんより「小学校の体育着を中学校のリサイクル活動で回収できないか？」との相談をいただきました。小学校の春のリサイクル活動でもっとも必要な大きいサイズの体育着が、卒業生から回収が進まず大変なのは、どの小学校も同じ状況なのではないか…？これは、山形市内の各小中学校から成る母親委員会の組織を活かす機会かもしれないと思いました。

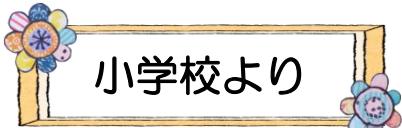
そこで学区内小中学校への協力依頼、そして各小学校の母親委員長さんとの調整を進め、中学校でのリサイクル活動で各小学校の体育着の回収が実現できることとなりました。また、この活動にはコロナ禍の影響により不安定になった家計の助けになりたいという強い思いもあったので、より多くのリサイクル品が集まるよう、中学校内だけでなく、学区内全域の回覧板で「ご家庭にあるリサイクル品の回収のお願い」を配布し回収への協力を呼びかけました。

回収活動は休日2日間で開催、時間を長めに設定することで、人が集中しない様配慮して実施。11月に行われた販売ではあらかじめ在庫をお知らせすることで、不要な外出を防ぎました。小中共にこれまでには無いほど沢山のリサイクル品の提供をいただき、沢山の先輩方・地域の皆さんのお想いを在校生や来年度の新入生に繋げることが出来た活動となりました。

ニューノーマルと言われる中、より広い視野での小中連携としっかりとした感染症対策。このPTA活動は様々な人たちの連携で作り上げた『子どもと家庭に向けた支援』だったのではないかと思っています。この場をお借りして、難しい判断の中ご協力をいただいた各校の先生方とすべての母親委員の皆さんに心より感謝申し上げます。



【山形市立第六中学校母親委員長 細谷真紀子】



～連携しての取り組みに小学校からも感想をよせていただきました～



山形市立 第六小学校

毎年大きいサイズの需要があるにもかかわらず、在校生からは大きいサイズの提供は少なく悩んでいたところ、六中学区合同で企画して頂き大変助かりました。今年度はサイズの偏りなく提供できそうです。

おゆずり会は2月の授業参観時に開催予定です。今年度はできることが限られます、体育着リサイクルに力を入れてきたので、どんな形でもおゆずりする機会を設けたいと考えています。

【母親委員長 歌丸るみ】

山形市立 南小学校

南小では、おさがりボランティア活動が今年度より母親委員会主催になりました。

そしてこの度、六中学区合同で卒業生からの数多くの体育着の提供により、在校生へ配布することができました。特に大きいサイズの需要が高く、保護者の方より喜びの声をいただきました。

コロナ禍で例年どおりに活動することが難しい中で、六中学区で協力しあえたこと、おさがりボランティア活動が継続できたことに感謝いたします。

【母親委員長 有路美紀】

山形市立 滝山小学校

昨年度末の休校措置により回収活動ができず、コロナウイルス感染拡大の影響もあり、今年度初めに販売活動の全面中止を決断せざるを得ない状況でした。

そのような中で、コロナ禍の大変な時だからこそ、小中連携して子どもたちのために活動したいという今回の活動により、卒業生のみなさんからたくさんの体育着をご提供いただき、新入生入学説明会にあわせて販売会も企画することができました。本当にありがとうございました。

【母親委員長 半沢忍】

山形市青少年指導センター活動の観察

青少年指導センターとは

青少年健全育成、非行防止を目的に、街頭指導活動、少年電話相談・少年メール相談を行っています。

街頭指導活動では、指導委員（民生委員児童委員・主任児童委員・保護司・青少年育成推進員・教員

・PTA役員等）が中心部繁華街と各小中学校区で巡回活動を行い、青少年への「声かけ」を通して、

非行の未然防止や早期発見、早期の指導を行うなど、青少年の健全育成・非行防止を目的とした活動を行っています。



山形市青少年指導センターってどんなところだろう…と、ちょっと緊張しながら山形市役所に観察研修に行ってきました。これまで知らなかった青少年指導センターについて、今回の観察で学んできたことをご報告させていただきます。

今回の観察では、実際の街頭指導に同行させていただき、巡回しながら山形市の現状をお聞きしました。どんな天候の時も、毎日欠かさず子どもたちの下校時に沢山の場所を巡回し、危険なことや困っている子どもがいないか等、きめ細やかな気配り、目配りで見守って下さっていることを知り、本当に頭が下がる想いでした。下校時だけでなく、定期的な夜間巡回や長期休暇中の昼間の巡回など、子どもたちの生活にあわせて安全・安心な環境を日々守っていただいていることを知りました。今回、巡回指導に同行させて頂いた専門指導委員の方が、学校の現場で子どもたちに教えていた経験豊富な教育者の方だということにも驚きました。

街頭指導で見られた子どもたちの気になる様子（4月から10月まで）

- 公園が男女若者のたまり場になり一部の者が占有したり、タバコの吸い殻や飲食物の残骸が散乱したりしていた。
- 霞城セントラル内や公園等のベンチで、マスク無着用、ソーシャルディスタンスの意識もなく、抱き合ったり、寄り添っている高校生カップルが多数みかけられた。
- 公園の多目的トイレで高校生カップルが不純な関係を持っているとの通報により、警察に補導された事案があった。
- 夕刻になると女子トイレでは女子高生が化粧していることが多い。
- 使用禁止エリアでのスケートボード等の使用

コロナ禍における休校中には上記のような行動の報告も多かったとのことでした。保護者としてはショッキングな話もありましたが、休校により行き場を無くした若者たちの問題行動に対し、指導委員の方は心のこもった温かい声かけを地道に重ね、姿を見せて悪い方へ行かない様に抑止効果を高め続けてくださっていたことを知り、みんなが見守っていること、声をかけコミュニケーションを絶やさないこと、そんな当たり前のことがどれだけ今の世の中に欠かせないことを教わりました。

また、メール相談では、ひとつひとつの相談に真剣に向き合い、たくさんのスタッフが時間をかけて意見を出し合って本気で返信を考えくださっているというお話を大変印象に残りました。

最後に、センターでは巡回指導のお手伝いをして下さる方を募集するために広く声かけしたいと考えているそうです。今その方法を職員の方たちが考案中という事でした。貴重なお話をたくさんうかがうことができ、参加して良かったと思える研修でした。



《「子ども安全情報」メールマガジン》

右の二次元コードを読み込み、登録フォームからお手続きください。
anzenshakyo@city.yamagata-yamagata.lg.jp から子ども安全情報の配信を行いますので、ドメイン指定受信されている方は、設定をお願いします。
詳しくは山形市ホームページをご覧ください。



《やまがた110ネットワーク》

事件手配・不審者・交通取り締まり情報等、8種類の情報から必要なものを選択して受信できます。
yp1@ox03.asp.cuenote.jp に空メールを送信。詳しくは県警ホームページをご覧ください。



《山形市PTA連合会 母親委員会の主な活動報告》

活動テーマ 「いのちの尊さ大切さ」～かかわる喜び つながる心～

○定例母親委員会(年3回)

第1回 母親委員会(5/12) 今年度の活動計画等(書面審議)

第2回 母親委員会 中止

第3回 母親委員会(2/19) 今年度の反省・今後の課題等

○拡大母親委員会(11/15)

講演:「家庭でして欲しい、いのちと性の話」 講師:井上 聰子 氏

○「親学」家庭教育観察研修(1/8)

山形市青少年指導センター活動の観察研修

○母親委員会だより 「マザーズねっとわーく」 No. 25 3月発行

一年間、母親委員会の活動
ご理解とご協力をいただきまして、
ありがとうございました。
(運営委員一同)

【令和2年度 運営委員会】

●委員長 :高見 佳澄(山寺小中)

●副委員長:菊地 良子(第二中) 渡邊 玲子(桜田小)

●運営委員:細谷真紀子(第六中) 渡邊 いづみ(金井中)

吉田 典子(第七小) 半沢 忍(滝山小)